

**製品名: XE7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19951**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

**抗原情報**

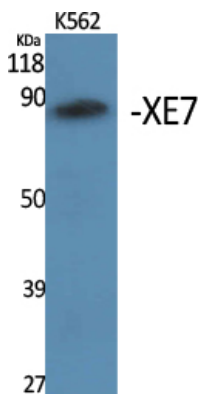
遺伝子名	AKAP17A AKAP17A; CXYorf3; DXYS155E; SFRS17A; XE7; A-kinase anchor protein 17A; AKAP-17A; 721P;
別名	B-lymphocyte antigen; Protein XE7; Protein kinase A-anchoring protein 17A; PRKA17A; Splicing factor; arginine/serine-rich 17A
遺伝子 ID	8227.0
SwissProt ID	Q02040
免疫原	XE7 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 590-670

**背景**

A キナーゼアンカータンパク質 17A (AKAP17A) ホモサピエンス この遺伝子座は、タンパク質キナーゼAアンカータンパク質をコードしています。コードされているタンパク質はスプライソソーム複合体の一部であり、一部の mRNA 前駆体における選択的スプライシングの調節に関与しています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受ける転写産物バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010年9月];注意: 当初 (PubMed:1438229) は、B細胞の活性化に関する細胞表面タンパク質と考えられていました。機能: 特定の mRNA 前駆体の選択的スプライス部位選択を制御するスプライス因子。、その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X染色体とY染色体の擬似常染色体領域1 (PAR1) に位置しています。、類似性: 1つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みます。、サブユニット: モノマー。スプライソソームの構成要素。 ZRANB2 および SFRS1/ASF と Arg/Ser リッチドメインを介して相互作用する。、組織特異性: 広く発現している。心臓、脳、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓に認められる。活性化 B 細胞および胎盤にも発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



XE7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。